

奈良県 MR Conference 特別講演会のご案内

日時 平成29年12月9日(土) 14:30 ~

(受付 14:00~) 会場整理費 1,000円

会場 かしはら万葉ホール 5階レプションホール (裏面地図)

橿原市小房町11-5 TEL 0744-29-1300

司会進行 西奈良中央病院 金山 敏大

*** 薬剤情報提供 14:30**

○ 「画像診断関連情報について」

バイエル薬品(株)

*** 技術情報提供 14:45 (順不同)**

座長 田北病院 吉澤 将志

国保中央病院 旭 合力

○ 「MR-PET装置の開発から現状まで」

シーメンスヘルスケア株式会社 MR事業部 宇根田宏徳 様

○ 「全身DWI撮像のポイント」

東芝メディカルシステムズ(株) MR営業部アプリケーション担当 今井 理実華 様

~~~~~ 休憩 ~~~~~

**\* 特別講演 16:00**

座長 市立奈良病院 北川 皓一

## 『 転移性骨腫瘍の画像診断 』

— 全身MRI及び躯幹部拡散強調像用いて —

大阪国際がんセンター放射線診断 IVR 科

主任部長 中西 克之 先生

— 講師紹介は裏面に掲載しています。 —

— 講演会終了後、情報交換の場を設けております。 —

当会は、日本救急撮影技師認定機構の認定団体です。 認定ポイント：2

当会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定団体です。 認定ポイント：5

## 講演内容

転移性骨腫瘍は、高齢化社会で悪性疾患の治療法が進歩し、生存率が伸びた昨今、日常的疾患になりつつある。画像診断に携わる者はこれを適切な方法で早期に正確に診断する様勤めなければならない。MRI は従来、軟部組織のコントラストに優れ骨軟部、脊椎、関節疾患の診断に大きく寄与して来た。問題点として検査時間が長く、表面コイル等を使用する事で撮像範囲が限られるということであった。この問題点を解決する方法として拡散強調画像を含めた全身 MRI 法がここ 10 数年、少しずつ普及して来た。本講演では本法の効率よい撮像法と画像処理、骨転移の一般的解説、当院で経験した種々の症例について解説したい。

### 特別講演講師ご紹介

中西 克之 (なかにし かつゆき) 先生

1959年7月31日生

|            |                                                    |
|------------|----------------------------------------------------|
| 1985年      | 関西医科大学卒、大阪大学医学部放射線医学教室研修生                          |
| 1986-89年   | 国立呉病院 放射線科勤務                                       |
| 1989-92年   | 大阪大学医学部放射線医学教室研究生、シニア非常勤                           |
| 1993年      | ドイツ連邦共和国アウグスブルグ中央病院放射線科留学                          |
| 1993-97年   | 大阪大学医学部助手                                          |
| 1997-2008年 | 大阪船員保険病院放射線科部長                                     |
| 2008年- 現在  | 大阪府立成人病センター放射線診断科<br>(現大阪国際がんセンター放射線診断 IVR 科) 主任部長 |
| 2009年      | 大阪大学医学部臨床教授                                        |

日本骨軟部放射線研究会、  
関西 SKR 勉強会世話人  
磁気共鳴学会評議員

## 案内図

